

1 事業背景

伊都消防組合の現消防庁舎は、昭和39年に建設された事務所建物を昭和56年から消防庁舎として使用しています。

建築基準法を満たしていない建物であったことから、平成26年度に耐震工事を施していますが、躯体や基礎部分のひび割れ、床の傾き等、各部の老朽化が著しい状況です。

また、現消防庁舎は紀ノ川が氾濫した時に浸水する可能性のある区域に建てられているため、移転若しくは浸水対策を講じた建替えが喫緊の課題となっています。

2 調査目的

- 伊都消防組合新消防庁舎整備事業に対するご意見、ご要望等を幅広くお聞きすることで、今後の事業方式や進め方を検討する。

3 庁舎周辺等の現状

敷地の基本情報

- 住所 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺126-12
- 敷地面積 3,880㎡
- 対象地は国道24号に接道しており、紀の川の洪水浸水想定区域に指定されています。
- 最大浸水深は訓練場の約2mであり、消防署の事務所や車庫等が建てられているエリアの浸水深は、約0.3mとなっています。

現消防庁舎の基本情報

- 延べ床面積 1,770㎡
- R C造、S造、C B造の建物が混在している。

↓ 敷地の広域位置図



4 必要施設等

執務室（消防本部）	執務室（消防署）	訓練指導室	作戦会議室	統制室	機械室	書庫
消防長室	来客室	出動準備室	除染室（火災）	除染室（救急）	乾燥室	仮眠室（男性用）
浴室（男性用）	更衣室（男性用）	洗面所	女性エリア ※1	食堂	車庫 ※3	倉庫（警防）
倉庫（救急）	倉庫（防災）	空気充填室	燃料庫	訓練棟（主）※2	訓練棟（副）	模擬消火栓
防火水槽	来客者駐車場					

※1 女性エリアは、更衣室、浴室、洗面所、トイレ、物干し場を設ける。

※2 訓練棟は、多様な訓練（傾斜地等）を実施できる仕様とし、倉庫、消防訓練室及びホース乾燥設備を設ける。

※3 車庫は、当消防本部が保有する車両（17台）を、余裕を持って収容できる広さとし、シャッターと排煙設備を設ける。

5 ゾーニング

- ・ 現消防庁舎の敷地内で建替えを行う方針としており、限られた敷地内において消防業務を止めることなく建替えを行う必要がある。
- ・ スムーズな出動動線を必要とし、来庁者及び当消防職員の動線が重ならないように考慮する。
- ・ 執務エリアと生活エリアの棲み分けを行う。

6 想定スケジュール

- ・ 令和9年度に事業開始予定です。
- ・ 事業期間は明確に決定しておりませんが、2～4年間で想定しています。